

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービスコンプリオ		
○保護者評価実施期間	2024年12月2日		~ 2024年12月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	2024年12月2日		~ 2024年12月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもの特性に応じて環境上の配慮を行っている。	・障害の特性や保護者の方からの要望に合わせて、背もたれの設置や注意力保持のため視覚情報を減らすなどの支援を行っている。	・こどもに活動の見通しを持っていただくために、職員間でこどものスケジュールに関する情報共有を行う。
2	こどもの状況を、フォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認している。	・支援後には毎回記録を残し、情報の共有と蓄積を行って、より適切な支援へとつなげている。	・標準化された形式によるフォーマルなアセスメントは、現在の状況と齟齬のないよう、定期的に更新する。 ・ミーティング実施日を予め年間で設定し、実施回数を確保する。
3	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしている。	・ヒヤリハットについては原因分析を行い、再発防止に努めている。	・過去のヒヤリハットについて、定期的に確認を行う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の意見等把握の機会が少ない。	・職員の意見を把握をする打ち合わせの時間を設けられていない。	・現在行っている製作の進捗状況や、今後やりたい活動プログラムなどの情報共有を職員間で行う。
2	家族の対応力の向上のためのプログラムが少ない。	・前例が少ないため、新規プログラム立案のコストがかかる。	・定期発行している通信やSNSを通して、家族の対応力向上のための情報提供を行う。
3	地域の中で他のこどもと交流する機会が少ない。	・外出の機会が少ない。	・保護者からのニーズがあれば外出の機会を増やし、公園遊びなどで他のこどもの交流機会を増やす。